

○ PEラインのメリットとは…

- 圧倒的に細いため、ナイロンラインより仕掛けの飛距離が伸びる!
- 伸びが非常に少ないため、アタリが素早く、かつ、ダイレクトにラインや穂先に出る!
- 水中抵抗が少ないため素早く仕掛けを張ることができ、糸さばきも簡単!
- 直線強力度でナイロンラインの3倍の強度があり、大物とのやりとりにも強い!

× PEラインのデメリットとは…

- ×素材そのものの張り・コシがないため、糸絡みが発生しやすい。
- ×素材自体に伸びが少ないため、急な合わせやアタリなどでショック切れが発生しやすい。
- ×リーダーとの直結方法(結び)に慣れが必要。

FASTECは、ココが違う!

フカセPE釣法を、より簡単に。そして身近に。

■ 張り・コシに優れた、糸絡みの発生しにくいPEラインが欲しい!

▶「ファステックPE」は、4本撚りPEにPTFE(ポリテトラフルオロエチレン)を組み合わせ、張り・コシを飛躍的に向上。比重1.4で強風下でも扱いやすく、糸絡みを発生させにくい。

■ 合わせ切れ、ショック切れの少ないPEタックルをりたい!

▶「ファステッククッション潮受」は、繊細な魚のアタリを伝達するのを妨げず、それでいて強い力や急激なラインへの衝撃を吸収するクッション。とっさの大物にも余裕を持ったやりとりが可能。

■ リーダーとPEラインの結び直しの手間を、出来る限り減らしたい!

▶「ファステッククッション潮受」を併用することで、PEとの直結部分を結び直すことなく、ハリスのみを素早く交換することが可能。

■ PEラインのメリットを100%引き出せるウキが欲しい!

▶フカセPE釣法専用開発された「ファステックPE-1」は、φ3mmの糸穴径で、喰い込み抵抗を極限まで削減。



FASTECシリーズ 推奨仕掛け

強い合わせにも安心! クッション潮受を併用した沈め釣り仕掛け



フカセPE釣法を始めるなら、まずはこの仕掛けから

PEラインの弱点である、伸びの少なさに起因する合わせ切れ・ショック切れを解消する基本仕掛け。小さなアタリはそのままPEラインまで伝達する一方、ひとたび大きな力が加われば、クッション潮受が伸縮することで急激なショックや魚の引きを吸収。これまでのPE仕掛けでは不可能であった、超攻撃的な釣りが可能となりました。また、ハリスをスイベルに結ぶため、直結仕掛けに比較して、ハリス交換の手間がかかりません。

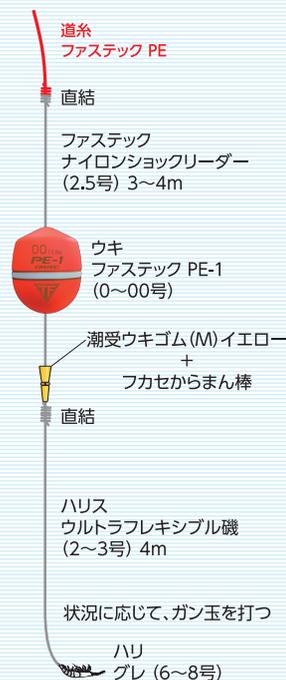
フロロリーダー直結仕掛け



アタリをダイレクトに伝えるシンプル仕掛け

いわゆる1000釣法に代表される、ロングハリス釣法。フロロショックリーダーはハリスとしても使えるクリアカラーを採用しているため、直結部からハリまで通しての使用が可能。ナイロンラインとは違ったダイレクトなアタリを体感できます。ただし、強い合わせや限度を超える無理なやりとりは禁物です。

流れの速い場所での大物狙い ナイロンショックリーダー+ハリス直結仕掛け



潮の流れの速いエリアに潜む大物をPEで攻略

PEラインの長所である糸さばきの良さを生かし、仕掛けを流れにきちんと乗せて大物を狙うのに最適なタックル。ナイロンショックリーダーを併用することで衝撃を吸収する一方、沖目でのツケエの変化を素早く感知できるため、ツケエのないまま仕掛けを流すタイムロスを一気に削減できます。ひとたび魚が掛れば、ナイロンの3倍の直線強力をフルに生かしたパワフルな「寄せ」を可能とします。必要に応じてハリスにガン玉を打ち、しっかりとツケエが沈むように調整してください。

フカセPE釣法の留意点

OPEラインの特性上、ナイロンラインに比較して竿先への絡み等がどうしても発生しやすくなります。特性に慣れるまでの間は、糸絡みの心配の少ない、中通し竿の使用をお勧め致します。

OPEラインとリーダーの直結方法については、ご自身で最も自信のある結び方をされることをお勧め致します。結節部はしっかりと湿らせてから締め込んでください。結節部は時間の経過、負荷により強度が低下しやすいため、極力頻繁に目視確認してください。キズや白化、ささくれなどが発生した場合は、結び直してください。